

○関係団体アンケート(記入欄抜粋)

No	団体番号	区分	団体名	区分	間1 目的、いきさつ	間3 活動内容	間4 活動期間	間5 1会員数	間6 2役員数	間9 交流、連携	間11 困りごと	間19 市(行政との連携)	間22 社協との連携	間26 意見、要望	
1	28	社協ボランティア団体	びわっこランチサービス	2	町内70歳以上の独居老人への昼食作りと安否確認の為。以前は業者が行っていたのですが富浦は最後にボランティアを立ち上げました。	給食ボランティアグループで交代で1日60〜70食の弁当作りをして民生委員が手渡しをしています。	平成22年		12		出来上がった弁当を民生委員に手渡し配っていたのですが、民生委員の方で老人クラブに加入しています。			益々高齢化に伴い買い物難民が増えています。何とか市バスを自由に使えるようにしていただけたらと思います。現在お通者サロンの方達が1か月に1回アイリスのバスで尾張屋まで行っておりますが、とっても喜んでおります。富浦にはスーパーがなくなり、お肉屋さん魚屋さんもありません。お年寄り困っております。私達給食ボランティアの弁当も独居老人だけではなく高齢者の家庭にも配ってあげられたらと思います。	
2	21	その他活動団体	ふれあい喫茶「なごみ」和田	2	喫茶店を開くことによって、高齢者等に話し合いの場を創出の場を提供する。(悩み事を聞いたり、話し相手になったりききかけ)平成18年の合併により、和地域福祉センターが淋しくなったので、ロビーで集まっている高齢者等に飲み物を出したのが活動を始めたいきさつです。	和田コミセンのロビーで喫茶店を開いている。朝10時〜午後3時まで、当番2人で(1人が月3回程度)担当している。メンバーは、20人で現在は2人で当番を組み、月〜金まで毎日活動している。	平成18年		20		①和田コミュニティセンターのロビーをお借りしている。②和地域づくり協議会の協力で、会員では出来ない力仕事とかがいろいろ困りごとを助けてもらっている。③民生委員の方に喫茶店に行く客がいろいろアドバイスを受けている。	メンバーの高齢化と新メンバーの加入者がいないことが課題である。その為、会員が新メンバーを探そうとしている。	現在の所、別になし	福祉まつりや福祉大会等に参加させていただいているが、今後とも色々な行事に参加したいと思っている。	和地域福祉センターで勉強会を開催しているが、必要なコピー等が出来なくて困っている。
3	45	社協ボランティア団体	声の広報 つくし会	2	南房総市発行の広報、お知らせ版、議会便り、てんだあ、民話、本、新聞などを録音テープにして、目の不自由な方、単独老人等に声を届ける。(設立はかなり古く、当時を知る会員は現在在籍していない)	上記の録音テープを傾聴者に配布し、在宅中であれば話し相手になつたり安否確認をする。	昭和56年		7		市役所・広報の中で分からない部分は担当部署に電話で確認している。社協:資料保管、テープダビングなどで協力していただいている	私達の行っている活動について、全く知らない方が大部分であり、ボランティアまつり等でパネル展示をしても、それを見に来る方が限られた方々なので、もっと一般の方に広く発信したい。民生委員の方など、詳細な情報をお持ちではないかと思うので、協力関係ができれば、もっと活動が広がるのではないかと。			旧千倉町時代の公民館が防災上の理由でこわされてから、誰でもいつでも利用できる歩いていける距離の施設がなくなりました。「こんなことなら、古い公民館で危険でも我慢したのに」という声も聞かれる。車を運転しない人や、バスに乗るしか方法のない人は、ますます行動範囲が狭まってしまう。早期にコミュニティセンターの建設を希望します。
4	27	その他活動団体	夜警ボランティア 富浦	2	夜警の主体である岡本青年会の会員減少により夜警が難しくなってきたため、それを補う。	11月から3月までの風の強い日に夜警を行う	平成13年		26	0	交互に行っている。				
5	97	社協関連当事者団体	南房総市老人クラブ 連合会富山支部	1	健康、友愛、奉仕、活動	○生きがいづくり・趣味、文化、レク等 ○健康づくり・健康寿命を伸ばす。(運動、体力測定)等 ○仲間づくり・支え合い、友愛 ○地球づくり・社会貢献(環境美化、ボランティア、世代交流)等	平成18年	400	30	○市全て老人クラブ活動に関係する。 ○市参加、交流会、安否確認、事務打合せ等	○交通機関の解決 ○行政区の協力	地域包括支援、健康づくり、活動に積極的に参加したい。	○社会福祉協議会は老人クラブの事務局ですので協議しながら運営したい。 ○ボランティア活動等も積極的に参加したい。	○高齢化社会に入り老々介護が増大しています。高齢者が安心して介護が受けられる施策が望まれると思います。 ○市内交通機関ルートは高齢化にならない前のルート構成になっています。幹線ルートのみバス路線でなく今らしい高齢者向けの路線を工夫出来たらと思います。	
6	13	NPO法人	特定非営利活動法人 やんべえ共助	2	現在の事業を継続する上で、見えてくる社会ニーズに対し、継続的に出来る支援を提供したいと思った。	当面は①草刈り②相談(介護保険事業、医療、成年後見)事業考えています。	平成30年		0	6	役員自身が経営している。また活動している。	設立して間もないため、社会のニーズを見極めて対応可能、可、不可を検討する時間が欲しい。	移動手段の確保、もしくは各戸巡回システム化。	ニーズ調査	特に意見、要望はありません。社会ニーズを調査し自分達で出来る範囲内(継続できる事が条件で)でお手伝いさせて頂ければと思っています。
7	31	社協ボランティア団体	トバローゼ富浦	2	フラダンスを通じボランティア活動を行う。	介護・老人ホーム等の施設から依頼を受けてフラダンスを踊りに行きます。	平成16年		13					私達は、フラダンスのサークルで介護施設等で依頼があった場合、ボランティアで施設訪問をしている団体です。わかるどころだけ調査票を記入しておきました。	
8	103	社協関連当事者団体	南房総市遺族会	3	南房総市に在住する戦没者の遺族及び英霊を供養している者を顕彰、処遇の改善、戦没者遺族の福祉の増進、会員の親睦。	春 秋に県護国神社に大祭に参列。 千葉県戦没者追悼式に参列。 館南町遺族会との合同研修会。 靖国神社に参拝。 全国戦没者追悼式に参列。	平成18年	1220	14	事務局を置いている。	時間と資金。 相手の声を真摯に聞く。	南房総市戦没者追悼式について！ 各慰霊碑の保存について！	勝手もんが多い点をどうするか！		
9	55	社協ボランティア団体	寺庭ボランティア	2	活動の目的・ボランティア活動を通して、寺院住民のだれもが明るく楽しい時間を共有し、健康的な生活福祉向上に貢献する。設立の理由・千倉地区において地域にサロン設立の意向があった。	高齢者を中心として、話の場設定、歌や踊り、体操、レクリエーション、ゲームなどの活動、又、ボランティア団体による演技観賞など	平成29年		10		行政区(寺庭区)の集会所無償、カラオケ機材無償、回覧(パンフレット)、社会福祉協議会補助金及び運営相談、老人クラブ運営協力、民生委員、ボランティア会員として協力。	活動内容、動誘方法など情報提供の場が狭く問題、広く情報提供の必要を感じる。歩くことが困難な高齢者が増えています。送迎方法を考慮して欲しいです。	取組として、寺庭地区は広域の為、参加できない人が多い。送迎バスなどの支援がほしい。行政区を越えて誰でも参加できるようにして欲しい。	社会福祉協議会行事に、誰でも参加できるようにして欲しい。	地域福祉、保健福祉サービスに関して高齢者が困っていること、望んでいること等、情報がつかめずサロン運営に送っているのが現状です。参加(利用)する高齢者と共に運営できるサロンでありたいと願っています。 サロンを運営して感じましたが、男性の利用がめだつて少ないです。男性がもっとでかけてきてくれるサロン運営ができる方法、サービスの提供を要望します。
10	36	社協ボランティア団体	茶の間	2	急速な少子高齢化が進む現在、地方の高齢者が見放されやすくなっている昨今、高齢者が明るく楽しく元気で暮らしやすい地域の活性化を維持していくため。	月2回(第一、第三火曜日)に集会場に集まり軽い運動や物づくり、意見の交換、雑談、歌を歌ったりしています。	平成30年		10	7					
11	90	サロン団体	だんらんカフェ	1	地域に2ヶ所お通者サロンがありますが送迎等が難しいので各地区に歩いてこれるところで(自力で)活動した方が良いということで作り直しました。	高齢者の交流、健康づくり	平成30年		15	9	時々、地区の警察の方のお世話や保健士さんの活動を聞く時間をもうける。	社会福祉協議会とのコミュニケーションがほしい。			
12	26	その他活動団体	丸山地区青少年キャンプ実行委員会 丸山	1	地域で生きる為の安全、安心の地域づくり	移送や生活への支援(手間借り)、防災、減災の為の防火かわせみの運営、里の保全の為の草刈り、進路整備、有害鳥獣対策			10	4	全般的な支援、協力。千葉工大とは特に連携して活動を展開	人口減であるけど仕方がないが、プレミアム世代(60〜80歳)の協力が大きいと考える。地域の実情にあったものであれば時間をかけるつもり	地区は鴨川市と隣接しており、行政区をまたいだ活動をしています。特に歴史や文化財等の関係でバックアップを必要としている。	住民主体の活動をベースにして市やバックアップすべき。移動手段等の自主運営への法的整備と改正を含む情報の共有(中途半端は不要)。プレミアム世代(60〜80)の活用がポイントであり、高齢者扱いではなく、圧力エンジンとして考えられるか⇒ここが全てのキーワードと考える	
13	87	サロン団体	お通者サロンいらい	2	社協で実施していた、お通者サロン(いらいの家)が廃止になるということで、今までの利用者が行き場がなくなってしまうので有志(ボラ仲間)でコミセンを会場に岩井地区のみなさんを対象に設立した。※岩井地区協が実施、活動する事になっていたが、地区社協としては活動をしない事になってしまった。	岩井地区(1部他)78歳〜96歳までの老人、10〜15人ぐらいで集まり健康体操、脳トレ、歌、手芸、市福祉課社協から来ていたとき熱中症対策の話などをしていただいた。子ども達も交流会、他サロンとの交流会(外室のあとの)食事会。	平成17年		9		①市、保健福祉課などから来ていただき日常生活の注意事項(冬場の温度差、熱中症、食中毒)他 ⑦幼・保園のお遊戯会	拠点(コミセン)も少し自由にに使わせてほしい。			下から(住民)の要望、意見を出してほしいといわれるが我々が意見をいっても区長、民生委員が地域の現状を把握していない。チャンカンブンでもっと地域住民の意見、要望を聞くように言ってもらいたい。※下からは住民なのか区長、民生委員からの要望からなのか？
14	88	サロン団体	市部みんなのたまり場	2	我が地域には老人会、婦人会などの住民の交流の場がないので(同年代はもちろん年代を越えた世代交流の場がない)ので。	誰でも自由に参加できる(夜の部)呑みべー会。 世代交流の場として〃(昼の部)折り紙、手芸、どんぐり体験、手趣の会。 子ども達の休み(学校、幼稚園)子どもあそびの会。	平成29年		5		①②保健福祉、健康、熱中症対策などの指導など。 ⑦⑧折り紙、手芸、どんぐり等の体験。 ⑩おれおれ詐欺などの注意、防止。	区長、民生委員が知己の現状を把握していない。する気がない。	地区社協が必要なのか！団体として活動してほしい。		
15	53	社協ボランティア団体	花の会	2	ボランティアと参加者の交流	手話、ボールを使った体操、カレンダー、折り紙、懐かしい歌、トランプ、頭の体操	平成29年		10	10	社会福祉協議会主催			保健師さんが地域のサロンを回って下さればありがたいです。	
16	66	社協ボランティア団体	茶香会	2	長年習った踊りや茶道を役立てて喜んでほしいと思ったのがいきさつであり、目的は高齢者社会に少しでも貢献していくことです。	お抹茶も普段飲む機会が少ないので味わってもらって親しみをもってもらう。	平成24年		10	2	協会の催し物に参加して野天等を行っている。また、施設を訪問して踊りを見てもらって楽しんでもらっている。	活動内容に賛同してもらえるようにピーアールしている。	高齢化社会に向けて、いつまでも元気な身体を保っていただけるように体力面の強化を行っていく。	今のところ別に何を協働したいか思いつきませんが、買物の送迎等を独居の人にしてあげたい。	みんな対等で気持ちよく仕事がしたい。協働で。
17	17	地域づくり協議会	白浜地域づくり協議会「きりり」白浜	3	活動の目的は地域づくり。活動を始めたいきさつは、市が地域づくり協議会の設立を推進し、白浜地区全戸回覧で地域づくりに興味のある人を募集したところ、25名の応募があり地域づくりが話合われるようになった。	遊歩道整備、花の植栽、農業体験、ゴミ拾い、イベント開催、防災マップ作成、津波8.3mテープ巻、小学校マラソン大会及び避難訓練協力、大原台農道方面の草刈り	平成22年		67	27	市役所協働、小学校(農業体験、海あそび体験)、下校指導、マラソン大会協力、避難訓練協力) 社協、防災活動講演、行政区美化活動、子ども会美化活動	現在の会員から、これまでの活動を自己評価(できたこと、その成果など)してもらい、今後新たにチャレンジしたいことの意味を引き出す。	現状どおりで良い。	どんな活動を行っているか、情報の共有をしたい。	
18	51	社協ボランティア団体	わたげ会	2	たんぼぼの綿毛のように地域社会を飛び回り各種ボランティア活動を行い、その活動を通じて明るく住みよい町づくりに貢献する。	お通者サロンの運営。老人施設等の訪問り各種ボランティア活動を行い、その活動を行う事業への協力。	平成28年		15	4	ランサーサービス千倉、弁当配布時に利用者さん募集広報誌に入れてもらう。民生委員、ボランティア団体との情報交換等。		各種支援をさせていただいているので従事どおりで充分かと思っています。	特にありません。本市は他市に比較して恵まれていると思います。※ボランティア団体等に助成金がある等。	

No	団体番号	区分	団体名	区分	問3 目的、いきさつ	問4 活動内容	問5 活動期間	問6 1会員数	2役員数	問9 交流、連携	問11 困りごと	問19 市(行政との連携)	問22 社協との連携	問26 意見、要望
19	22	その他活動団体	安馬谷里山研究会 丸山	2	平成11年、丸山町臨時職員として一年中桜咲く里山づくりを目標に活動開始。平成15年、県里山条例が発足し、里山研究会発足。現在は、18名が会員。	区域12時間のうち4時間を年2回草刈り、または、苗の手入れや除間伐等実施。	平成15年	18		①里山関係の研修会に協力。③地元住民の自由散策。④他の団体とゴミ拾い実施。⑤ハイキング実施。⑥植物研修会やバードウォッチング等実施。				
20	1	NPO法人	NPO法人ウイズライフ	2	自然との共生(環境)、地球との共生(防災)、人との共生(福祉)を目指すNPO	防災住宅、防災家具の企画、開発(ログハウス、ツリーハウス、津波カプセル)、貸山林、ダーチャ、クラインガルデン事業、身体障害者の起業支援	平成28年	20	3	補助金の申請、情報交換、研修会への参加	ネットワークの充実と交流の強化。宣伝活動の活性化。	データ事業とグリーンツーリズムとの連携。	津波カプセル(てんでんこ)、多目的防災家具のPR	
21	85	社協ボランティア団体	花の里ボランティア	2	花の里施設利用者との交流	花の里デイサービス利用者とのふれあい、また、イベント等のお手伝い。	平成10年	12		介護、福祉施設との要請、依頼など(支援依頼)	メンバーの高齢化に伴い多くの方々の活動が少なくなっている。また、新メンバーへの加入の呼びかけをしているが加入する方がいないこと。		高齢化が進み施設に入る前の人達に福祉施設で集まりレクリエーションなどで楽しむ事が重要だと思う。	自動車の運転免許の返納した人が多くみられるが、交通の便も悪く買物ができず大変だと思うが店も遠く生活が大変かと思う。なんとか車の手配など考えてほしい。
22	70	社協ボランティア団体	防犯パトロール隊 クーちゃん	2	子ども達を守りたい。防犯、交通安全、防災ボランティアと子ども達との交流(地域の絆、安全安心な町づくり)	子ども達の見守り、パトロール(学校の登下校、交差点、犬の散歩の時)ひとり暮らしの老人の見回り、防災の時の手助け、青色回転灯をつけたパトロールカーで見回り		20		子ども達の見回り(登下校の安全確認)学校行事などに参加、警察(交通安全教室)、学校(遠足、運動会など)	新しく丸山地区で子ども達の見守りのボランティアを募集しなければいけない。	千葉県野田市の小4心愛ちゃんが父親の虐待により、短い命が消えてしまった。20年間私は、小中学校で子ども達を見守り、朝子ども達の笑顔を見てきた。この事件は、児童相談所、学校、教育委員会などの虐待のリスクを見落としていたことによる悲劇ではないか、もっと子どもの気持ちになって接し、心愛ちゃんを本当に守ろうと思えば、いじめアンケートを父親に渡したらどうなるか理解出来たと思う。アンケートを死ぬ思いで書いた気持ち、周りの大人がもっと深く心愛ちゃんを大切に理解していたら(心から愛する)命が助かっていたかも? 思いやり、優しさ。ボランティアと行政、学校児童教育委員会、警察などの連携。	少子高齢化が進む中、小さな命が消えたり児童虐待の悲しいニュースが多くなっています。私ももうすぐ66歳、学校、地域の見守りをやって20年。子ども達と仲良く接していますが地域の人は不審者に思われるのを恐れ、登下校中の児童に気軽に声をかけられない世の中です。残念な思いです。元気なお年寄りも、もっと社会に貢献したいと思っている人がいると思います。児童相談所など行政機関でそういう人達をボランティアになってもらえば若い親の子育ての相談相手、手助けしてもらったらいい。※祖父母みたいない感じで。(優しさ、思いやりの心がある人)	
23	20	地域づくり協議会	和田地域づくり協議会「WAO!」和田	2	市が推進する協働の町づくりの一環として始まる。	地域づくり活動	平成23年	15	6	市役所から人的・経済的な支援を受けている。ボランティア団体や他の地域づくり協議会とはイベントなどで連携している。			買い物の支援	
24	79	社協ボランティア団体	平館むつみ会	2	20年前に地区の15年に1回まわってくる御舞社で(1月)踊りをみんなで習い踊りました。忘れないうちに何かできないかと言うことで、演芸ボランティアを始めました。	演芸ボランティア(唄ったり、踊り、紙芝居、貝細工、手芸手作り作品展等)	平成11年	8	2	ふれあいの日、地区の七夕飾り作り、踊りでいろいろな所へ参加	みなさん働いている人が多いため、参加したいと思っても時間が自由にならないと言っている人が多いです。		都合がつけば、お手伝いしたいです。まだ、仕事で役に立っている人もいますので!	
25	73	社協ボランティア団体	真浦ふれあいサロン	2	平成29年3月まで、市の社会福祉協議会主催の福祉センターで「お遊者サロン」が実施されていたが、4月より各地区で実施することになり、真浦区の高齢者が参加していたため活動内容もサロンと同じようなことから始めようということ、現在に至っている。	1ヶ月おきに2ヶ月分の塗り絵カレンダーの作成、手芸、折り紙、クリスマスや正月の飾りの飾り作り、特養施設のケアマネジャーを招いての体操教室。他地区のサロンと合同で忘年会やコーラス。	平成29年	30	5	平成29年4月よりサロンを始めるにあたり、補助金申請やいろいろな助言をもらっている。また、行政区にはサロンに参加してもらうため区民に呼びかけた。	メンバーを増やすため加入するよう進めるが、人間関係が難しく無理に進められない。		現在活動しているサロンは、集会所で実施しているが所内は畳のため、高齢者は座るより椅子に腰掛けた方が良いひとが多い。椅子やテーブルを購入する補助金が出してもらえたらと思っている。	区内でのサロンに参加することに問題はないが、地区外へのサロンの活動の場合、高齢者が自家用車で移動が難しく市の車の借上りがなかなか出来ないため、個人負担が多くなってしまおうので民間の借上車の代金の補助を出してもらいたい。
26	62	社協ボランティア団体	南三原地区小域ボランティア	2	地区の独居老人の安否確認とふれあいのため。	配食サービス。小学校とのふれあい会食会。福祉まつり協力。	昭和50年	27		お弁当の配達 民生委員、福祉まつり 社会福祉協議会、小学生とのふれあい会食会 小学校、老人。	募集の方法が?			
27	49	社協ボランティア団体	やまびこの会	2	福祉バザーの補助。老人クラブ主催の地区活動支援。中学校福祉教育へボランティア。	老人クラブ、スポーツ大会での用具・招集係手伝い。	昭和50年	12	6	中学校の総合学習時や高齢者の行事にボランティアとして要請があれば。	中高年層が地域で働く職や職場があること。			問24の回答項目に「できることはない、たのまれてもしたくない」のように、わずらわしさを打ち明ける市民もいるし大切にされなければと思うので迷ってしまふ。
28	106	地区社協	富浦地区社会福祉協議会	1	会員の構成が主に民生委員・児童委員なのでその任務に関連すること。	ふれあいランチサービス、民生・社協の会議、教習、行事、各種証明事務、友愛訪問(安否確認)、身近な困りごとの相談・話し相手。		2	27	その都度発生した問題に対して関係する団体や機関などに接触・相談する。	一般市民に我々の存在、目的、活動などを理解してもらえよう努力する。そして自分も一度参加してみようかなとならないか。			
29	6	NPO法人	NPO法人ななうら 千倉	2	七浦地域は少子高齢化が進み、交通手段の問題や商店の減少による買い物弱者の増加など過疎地域に特有の課題を持っている。そのような状況下において、生活の利便性の向上や地域内コミュニケーションの活性化を目指す。	売店において惣菜、食品、日用品の販売。草刈り、掃除などの日常生活支援サービス。盆踊り大会、クリスマスパーティなどのイベント開催。	平成27年	40	10	旧七浦小学校施設内(現七浦診療所)にて活動。イベント開催時など七浦の各地区にチラシの配布。機材の貸与、ボランティアの協力を依頼。	周辺住民への広報活動の充実(地区の回覧板、チラシ等)。ボランティアによる運営。	高齢者の方や定年を迎えた方などが活躍できる場の提供。	高齢者の方や定年を迎えた方が活躍ができる場の提供。	実施している施策、広報活動に対して市民の方が関心を持ち積極的に情報を得ようとするのが大切だと感じました。
30	14	地域づくり協議会	富浦地域づくり協議会「さざなみ」富浦	3	地域の活性化	美化(植栽、草刈り、園庭内)。地域交流会(ウォーキング)。健康(ロコモ体操、体力測定)。スポーツ(Gゴルフ大会)。子どもの居場所(遊びの体験、見守り)。	平成23年	48	4	ウォーキング時の案内、絵本の読み聞かせ、紙芝居、焼き芋、餅つき体験、映画会などのスタッフ協力。	若者の協力へのPR、参加			
31	99	社協関連当事者団体	南房総市老人クラブ 連合会白浜支部	1	スポーツを通して健康また長生きレクリエーションで楽しむ目的。	スポーツ、レクリエーション、食事会、旅行を毎年行っています。	平成20年	90~60	12	福祉、小学生とのランドゴルフの交流会。	新しいメンバーが入らない。	運動広場、スポーツ用品、芝刈り機	現在、クラブ大会、スポーツ大会、歩ヶ歩ヶ大会、年間その他。	高齢者の健康にスポーツ(グランドゴルフ)を現在老人会で約50名白浜運動広場で週3回、月水金でやっておりますがいろいろ安全面で広場の修理費その他で補助金を出していただきたいと思っています。
32	38	社協ボランティア団体	みならく出口	2	地域の支えあい、介護予防、元気で楽しいを目指す。	お遊者サロン活動、おしゃべりや体操、その他	平成30年	13		設立時に社会福祉協議会の指導と助成金を受けました。また、ボランティア団体として助成金をいただきました。	和式トイレに悩んでいます。			
33	84	社協ボランティア団体	和田町朗読ボランティア	2	町の読み聞かせ講座に参加したのが始まり。	小学生の児童に朝の15分間絵本、昔話、物語等の読み聞かせをする。		7						地域の福祉は、福祉問題だけを切り離して考えるのではなく、地域の活性化(この地域では農業、観光等)が前提としてあるべきで衰退の一途の地域が力んでも、そのできることは限られている。地域の力をつければ、人も集まり金も動く、若い人達も集まってくるので福祉問題の取り組みもやすくなるのではないかと。このままでは、いわゆる老々介護あるのみで福祉のイメージは限りなく暗い。抜本的な農業改革、例えば特産品の開発、希少品種の普及、農地の社会人への開放等が考えられるし、観光においてはサーフィン等の都会人との交流、宿泊施設の整備、クラインガルデン等が考えられるのではないだろうか。
34	82	社協ボランティア団体	南地区ボランティア	2	南地区社協のボランティア部門。	丸山地区ボラ連事業、参画。		2	30	保育園生垣刈(年2回)、もちつき配布等。	ボランティア事業の見直し。	特になし。	特になし。	
35	59	社協ボランティア団体	配食ボランティア 恵みの会	2		独居老人(70歳以上)への配食(月1回)		2	25	5	ボラ連の行事参加。社協、民生委員の活動の一部を担っている。			
36	104	社協関連当事者団体	南房総市心身障害者(児)福祉会	1	市内の心身障害者(児)及び、保護者の親睦と福祉を推進し、地域における団体活動の連絡調整を図り、社会生活の向上に寄与することを目的として設立された。	4月、総会。6月、軽スポーツ大会。7月、県主催市町村身体障害者福祉会地区研修会。9月、県主催千葉県身体障害者福祉会総括研修会(宿泊)。10月、安房地区障害者スポーツ大会。2月、視察研修会。スポーツ大会や研修会を行い、会員同士の交流を図っている。	平成20年	40	6	スポーツ大会への参加協力や施設を見学させていただくことによって交流を図っている。	会員を増加させたいが、個人情報保護法により利用者(該当者)の情報を得ることが出来ないで、市にも協力していただき使途の連携を図ることで新しい会員を増やしていきたい。	市で主催するイベント等への参加させていただき、自分達の活動を紹介し会員の増加を図りたい。	社会福祉協議会主催のイベント等へ参加させていただき、自分たちの活動を紹介し会員の増加を図りたい。	小中学校で、福祉教育により力を入れていただき、障害者への理解を深めてほしい。個人情報の問題もあるが、会員が高齢化になっているので会員の増加に協力してほしい。
37	16	地域づくり協議会	地域づくり協議会「みよし」三芳	3	三芳地域住民のため住民自身が知恵を出し合い三芳地域の課題解決に向け住民主体の地域づくり活動をする。	まほろば夢楽まつりの開催。子どもを中心とした世代間交流・放課後の子どもの預け合い、子育て支援。三芳地区の資源・歴史等を広く内外に紹介する活動、公共施設等の環境整備。みよし交流館の管理運営。	平成23年	45	3	活動における後援、合同開催、運営協力、事前準備の協力等。	他団体、関係機関との交流・連携。			
38	9	NPO法人	特定非営利活動法人 スマイル安房	2	障害者支援	イベント活動、災害支援	平成28年	10	6	イベントの参加		地域活性化のためのイベント	イベントの取り組みをもっとやってほしい。	障害者団体間の交流やイベントの意見。

No	団体番号	区分	問1 団体名	区分	問3 目的、いきさつ	問4 活動内容	問5 活動期間	問6 1会員数	2役員数	問9 交流、連携	問11 困りごと	問19 市(行政との連携)	問22 社協との連携	問26 意見、要望
39	89	サロニウム団体	平群地区社会福祉協議会	1	平群地区の住民が相互協力して地区の社会福祉の増進を図る。	社会住民によるネットワークの形成および相互扶助。高齢者や障害者、子ども達のための活動、委員の相互交流と意識の向上をはかるため視察研修。		6	24	各団体が行う事業への協力。				
40	96	社協関連当事者団体	南房総市老人クラブ連合会富浦支部	1	高齢者の健康、認知症予防、コミュニケーション等の高認識。	曲げダブルプロジェクト同様に高齢者認知症が安心して暮らせるまちづくりの推進。芸能界、軽スポーツ、理学療法士による健康管理等。	2	130	10	高齢者に対する防犯、交通安全、認知症予防、健康管理、子ども連とのふれあい。	富浦地区、区長を始め区がもっと高齢者問題を取り上げてほしい。現在、多田良、八束もお願いしたい。	富浦地区シニアクラブ活動力の不足。高齢でも元気な人は、自分なりに趣味、スポーツ等にすんで参加しているようだ。何も出来なくなってきた人、したくても出来ない人をどうしたら参加してもらえるかを取り組みたい。	芸能大会等、老人クラブ現状で行い、それなりに楽しいが参加者は老人クラブで会員以外は対象外になる。もっと聞口と広げたい。	現、社協福祉課等には非常にお世話になっている。福祉の充実した市にするには市の他課、部も全職員が福祉に目を向けてほしい。縦割りの状況が垣間見える公務員で退職した人達は特に地域に戻ったときに、その地域の福祉に貢献していただきたい以外に知らん顔をしている人が多いと聞く。
41	37	社協ボランティア団体	お達者サロンへぐり	1	地域において誰もが住みなれた地域でいつまでも安心して暮らしていけるように住民相互の交流を図ることで介護予防を促進し地域住民同士の助け合い、支え合いの輪を広めることを目的とする。	お達者サロンの開催。	平成29年		27					
42	10	NPO法人	特定非営利活動法人そらまめ	1	この法人は、障害者が人としての尊厳をもって幸せに生きがいある人生を送られるようにとの考えを基本に、障害者が自立して地域において生活できるよう地域に根ざした福祉サービス等を提供することにより、地域社会作りと社会全体の福祉の増進に寄与することを目的としています。	障害をお持ちの方が、住み慣れた地域で自立した生活を送られるようお手伝いします。食事、入浴、排泄、日常の相談等のお世話をします。就労先、日中活動先の事務所と連携します。	平成24年		23	15	市町村の補助金、医療機関との連携、他福祉事業所の日中活動参加、ボランティア団体の行事参加、老人クラブ、民生委員の協力のもと行事開催。			
43	39	社協ボランティア団体	もみじ会	2	村内に住む70歳以上の独居老人の家族に手作りのお弁当を届けることで始まった。	弁当作り。	平成5年		12	12	幼稚園の餅つき。小学校登校時の指導。福祉大会時の巻き寿司の販売等。			
44	50	社協ボランティア団体	ひまわり会	2	老人ホームに入所している方達に少しでも喜んでいただけたらと思いを立ち上げました。	ギター弾き語り、ハーモニカ演奏、カラオケ等。カラオケのない施設には家のカラオケを持って行きます。他には、スコップ、三味線等です。	平成20年		10		特にない。	年に10数回活動するが活動資金がない。		
45	41	社協ボランティア団体	オレンジの会	2	公民館、結婚式の贈いをしていた。仲間でボランティア活動をしその方たちで独居老人のお弁当作りをするようになった。	年4回独居老人の配食サービスを行っている。毎年、小学校5年生に太巻き作りをふるさとの伝統料理、地域の食材を使って指導します。			7		社会福祉協議会、小学校からの依頼で参加している。ボランティアに所属している。	メンバーの高齢化、若い方が入ってくださればいいですが、どのようにして声をかければよいか。		
46	47	社協ボランティア団体	八重会	2	目的 地域の人連とのふれあい、時間の共有。設立理由 文化祭、産業祭、川口老人会等に参加したい、同世代の人達の笑顔、応援に喜びを感じていた時、福祉関係の方より誘いがあり参加させていただいた。	舞踊、唄、踊りで施設を訪問。	平成18年		10		②社協より助成金。①福祉祭りに参加。②平群の盆踊りにわか運と参加。④商工会産業祭りに参加。⑤福祉施設を訪問。⑥会議の参加。	我々の会は、踊りを先生に習い(有料)趣味から始まっており、ボランティアに移行する形なので是非若い人達に入室していただきたい。募集かけますか？		
47	52	社協ボランティア団体	おれんじの会	1	10年くらい前に地域の行事に参加した仲間のボランティアグループですが、その後ずっと地域の行事に参加しています。	区民の集いの場所づくり「えんがわかフェ」。相談に乗ったり、できることはまだあると思いますので他のことも思案中です。	平成15年		10		社会福祉協議会、小学校からの依頼で参加している。ボランティアに所属している。活動費用を援助していただいている。	具体的には思い当たりません。		
48	54	社協ボランティア団体	白子ひとやすみ	2	地域の高齢者や子どもたちの見守りとコミュニケーションをはかるため。	地域のコミュニティセンターを利用し集いの場を設け、参加者による唄や踊り、季節によるイベント、誕生日の方々の祝福、近所の医院のリハビリ講習、市保健課の方のトーク等。駐在所員の参加もあります。	平成29年		14		ボランティアを立ち上げた時点で区長、老人クラブ会長、副会長、女性委員、民生委員のメンバーで構成し、その都度、社協の応援や支援センター、医療機関をお願いして参加していただいております。	高齢化が進んでいることもあり、参加したくても足が不自由だったりする事もあり、迎えに行けば参加する方もでてくるが全て満たされるに限らず。		
49	23	その他活動団体	安房八幡太鼓 三芳	3	伝統芸能として子孫に残すもの1つとして、和太鼓を取り上げ三芳村独自の太鼓を創作し伝統芸能として育てていこうということ。	小学校での音楽の授業として和太鼓の指導を行う。みれ園の子(小学生による太鼓のチーム)の指導。安房八幡太鼓メンバーの技能向上を目的とした稽古。各種団体の依頼や市依頼によるイベントでの演奏活動。	昭和3年		15		上記の団体・機関からの依頼により、太鼓の指導や講演活動を行う。	和太鼓にふれる機会をつくり、太鼓に興味を持ってもらう。	イベント等での太鼓公演依頼には協力させていただきたいと思えます。	特にありません。
50	33	社協ボランティア団体	ふれあいランチサービスボランティア富山	2	地域のボランティア及びボランティアグループの相互交流親睦及びボランティア活動の拡充に関する運営を行う。その活動を通じて地域福祉の向上に寄与することを目的とする。	地域ボランティア及びボランティアグループの相互交流と情報交換。ボランティア活動の拡充と検討	平成26年		13		ランチサービス、福祉フォーラム			
51	93	サロニウム団体	やあばっしえ白浜	1	地域包括ケアシステム構築のために厚生労働省から市町村に生活支援コーディネーターと共に協議体を位置づけることになり設置。地域の仲間どうしで、定期的に情報交換をし合う会議や、これからの町づくりの意見を出し合う会議を行ったりして、安心して暮らせる地域づくりを行っていくことを目指す。	高齢者サロン(お茶飲み会)、福祉相談会(月1回)、出張サロン(年2回程度)	平成28年		12	1	事業参加していただいている。出張サロン等で参加者を募っていただいたり、会議に参加していただいている。	地域住民のボランティア活動への積極的な姿勢		
52	42	社協ボランティア団体	マリンシェフ	1	活動目的:地域の一人暮らし高齢者の食生活の向上と安否確認の為民生委員と連携して活動を行う。	毎月第2水曜日、第3火曜日に白浜地区内の一人暮らし高齢者(希望者)に配食する。	平成22年		11	1	民生委員に配食、社会福祉協議会・ボランティア団体と一緒にボランティア祭りに協力、参加			
53	98	社協関連当事者団体	南房総市老人クラブ連合会三芳支部	3	スポーツを通じ会員相互の交流と親睦をはかることを目的とする。各地区集会所周辺の清掃等を行い協力を養う。	・5月 支部全体によるグランド大会(100~150名参加) ・10月 支部内スポーツ大会(100~150名参加) ・11月 支部内演芸大会実施(100~150名参加)この大会には幼稚園児年長、年少組を招待園児による合唱、おどり、老人一人ひとりと園児による遊びなど、老人100~150名参加、園児60~70名位参加			503	9	・活動に対する補助金・独居老人、高齢者援助など・社会福祉協議会、行政区との協力・交通安全、詐欺等の指導を受ける	若い方の老人会への関心		
54	48	社協ボランティア団体	ランチサービスちくら	2	一人暮らしのお年寄りの方、老々介護で大変な方々に何とかお手伝いができないかと話していた矢先、福祉協議会の方からお話があり何人かで集まって対策を練り始めました。ボランティアさんの募集、調理実習、配布して下さる方など大変でしたが千倉町のボランティア協議会が中心になり、以外と人が集まったので助かりました。会の設立は1年以上たってからです。	一人暮らしの70才以上の方々に月1回弁当を配り、民生委員さんに見守り配布していただく。弁当の内容は地産地消の手作り、一人では食べられない作らない昔ながらのものを中心に安心安全をモットーとして作っています。千倉地区は対象者が多いので、三地区に分けて月三回活動しています。	平成18年		40	8	民生委員・・・お弁当を配布していただく(見守りをかかへて)小学校・・・夏に暑中見舞いを書いていただき対象者に配布(約350枚)ボランティア団体・・・他地区との意見交換、交流会 社会福祉協議会・・・毎月の活動の確認、他団体との連絡	地域住民への情報発信、活動が知られていない。千倉町全体の他団体と協力してイベントを開催し宣伝する。そして、ボランティアの確保をめざす。	団体が多いので連携が難しい。	

No	団体番号	区分	団体名	区分	問1 目的、いきさつ	問3 活動内容	問4 活動期間	問5 1会員数	問6 2役員数	問9 交流、連携	問11 困りごと	問19 市(行政との連携)	問22 社協との連携	問26 意見、要望
55	74	社協ボランティア団体	南三原おもちゃと絵本の図書館	2	設立時、子どもが遊ぶ場所、親の情報交換場所がなかったため近所の人で活動を開始した。目的は地域の子育て支援。子どもが人とふれあいに信頼関係を育む。保護者の育児に関する悩みの軽減を図る。	毎月、第4土曜日午前9時30分～12時。おもちゃ・絵本等、子どもと楽しく遊ぶ。保護者の育児相談を受ける。また、保護者同士の情報交換の場。無料でおもちゃの貸し出しをする。夏と冬にイベントを開催。夏は、人形劇鑑賞、冬はいろいろ。	平成7年	6		イベントのチラシ等、市民に配布を保育園、幼稚園、ほのぼの他。社会福祉協議会は、千葉県おもちゃ図書館連絡会とのパイプ役と助成をしてもらっている。				
56	92	サロン団体	ジュリアンの会	3	高齢者(若い方も可)に集いの場として楽しんでいただく。手作り品を制作する事により喜びを共有していただく。	手芸作品の制作(古布を活用してマスコットや吊し飾り等を作る。年数回、外部(茶店など)にて交流を深める。作品の発表の場をかねて、フリーマーケットを活用(千倉の産まつり)しており(社会参加)楽しんでいただいています。	平成26年	5	1	②社会福祉協議会ボランティアセンターおよびお達者サロン支援事業に登録。④商工会の開催する産まつりに作品(手芸品)を出品。⑤介護施設(ひとはな)の営業時間外で1室を借りて活動している。	活動についてPRする機会が少ない。交通の便が良くないため参加希望があっても自力で通えない場合は困難。	私どもの活動を紹介する機会があればお知らせしていただきたい。	高齢者の集いの場として活動していますが、同様の活動を行っている団体等ありましたら情報交換を行うことができれば良いと考えています。そのような機会があったらお知らせしていただきたい。	
57	33	社協ボランティア団体	ふれあいランチサービスボランティア富山	2	南房総市社協の事業である配食サービスボランティアとして活動し、富山地区の地域福祉を推進することを目的とする。	一人暮らしの高齢者宅へ手作りのお弁当を配食し、安否の確認をする。	平成21年	47	4	民生委員は対象者宅を訪問し希望をとる。社協は事務全般。	現金買いができないことなので、会計システムを変えてほしい。			
58	117	地区社協	南地区社会福祉協議会	1	地区(旧豊田、千代の地区)社協。	市社協委託事業。	2	32	5	②③⑧⑯市社協委託事業遂行のため。⑩22年度からの「丸山地区地域福祉フォーラム」で、丸地区社協とともに設立した団体で最も連携・協力が強い。	情宣!	特になし。	現状。	
59	121	地区社協	南三原地区社会福祉協議会	1	地区内の住民が協力して地区の社会福祉の増進を図ることを目的とする。	高齢者をお誘いしての日帰り小旅行。高齢者ふれあい会食会。和田福祉まつり。	2	24		本会事業への参加・協力の依頼。				
60	108	地区社協	岩井地区社会福祉協議会	1	既存の会です。	合同交流会(会食・講演)		20		民生委員の方にも入ってもらっている。合同会食会の時に講演してもらう。	対話	推進員の高齢化が問題です。若い人(50代)もいますが仕事が忙しくあまり参加してもらえない。半強制的に市が若手を頼んでもらうしかない。(運転手がほしい)	現状でやります。	
61	18	地域づくり協議会	千倉地域づくり協議会『きずな』千倉	3			平成23年	94	16					
62	114	地区社協	長尾地区社会福祉協議会	1	みんなで支えあい、助けあい、誰もが安心して暮らせるまちづくり	地域とのふれ合い。 1 二世世代交流 2 高齢者のつとめ 等	2	18		地域の福祉活動	人的交流が乏しい			
63	113	地区社協	白浜地区社会福祉協議会	1	「支えあい、助けあい、誰でも安心して暮らせるまちづくり」を目指し社会福祉法に基づき組織された団体	地区高齢者の福祉と交流活動、二世世代交流グランドゴルフ、各行政区別高齢者のつとめ、委員研修及び交流会	2	23		地域の福祉活動について情報交換及び仕事の参加要請	各団体との交流			
64	107	地区社協	八東地区社会福祉協議会	1	地区内の住民が協力して地区の社会福祉の増進を図ることを目的とする。	・小学校運動会敬老会の接待 ・友愛訪問 ・高齢者のつとめ(いきいきサロン等の開催) ・小中学校、学園の児童生徒の見守り(特に夏休みや地域のイベントなど) ・委員相互の研修		15		民生委員・児童委員、区長は社協委員を兼ねている	支援を必要とする人の情報を得る、高齢者の移動手段(買物、病院など)、活動の場の確保が難しい		高齢者の移動手段の充実(買物、通院等、自宅近くまでの送迎など)	
65	95	サロン団体	おたがい茶間サロン	2	丸山では、おたがいさまネットワークの活動を通じて誰もが集える場として、岩糸に「おたがい茶間カフェ」をオープンした。丸山地区にも集える拠点が欲しいとの要望から始めた	第1金曜日 10:00～14:00 お茶を飲みながら、おしゃべりをする場の提供、時々、保健師さんの話や理学療法士による体操、ボランティアのお楽しみ企画等、駐在さんも寄ってくれます。	29	40	12	介護医療に関する保健師の講話、講師の派遣、理学療法士により健康体操、介護保険制度の説明、防犯のため駐在さんからの注意、手話や歌等の慰問	民家を借りて運営している。集まってくるのは高齢者が多く、スロープや手すり等設置するための補助金があったら助かる	今も要望には対応してもらっています	独居、高齢者世帯のみが入居できる集合住宅があったら良いと思います。同じような話し合いが何回も持たれますが、丸山ではおたがいさまネットワークで数年前から話し合いを持ってきました。行政はこの内容を把握していますか?	
66	115	地区社協	千倉地区社会福祉協議会	1	不明	年3回「ふれあいの日」開催、対象者:町内一人暮らし、地区別高齢者世帯、場所:南房総市社会福祉協議会、時間:10:30～15:00、参加人数:70～80人、対象者に参加いただき上記時間内で演芸を楽しんでもらう。		2	2	千倉地区社会福祉メンバーの団体名、区長会2名、民児協12名、ボランティア9名、社会福祉2名、教育関係1名、計26名	①活動資金②「ふれあいの日」の演題については町内に限らず町外にも依頼を広げる③他の団体との交流を年間行事予定に取り組み	特になし。	一人暮らし、高齢者世帯の買物難民者等の補助者の役割分担の確立	健康増進補助具利用者のための指導者の増員
67	111	地区社協	国府地区社会福祉協議会	1	南房総市国府地区内の住民が相互協力して地区の社会福祉の増進を図る	・独居老人訪問 ・三芳3地区合同いきいきサロン ・子ども園でのもちつき大会 ・研修会(委員)	2	23		委員になってもらっている	社会福祉に対する意識の高揚			
68	94	サロン団体	おたがい茶間カフェ	1	丸山地区地域福祉フォーラムの中で、身近に感じているのは地域のいい所や課題などを話し合ったところ、認知症の方やその家族地域の方が誰でも気軽に立ち寄れる居場所があったらという意見があり、立ち上げました(何日も話し合いました)	毎週水曜日 10:00～15:00まで、地域の子どもからお年寄りまで気軽に集える居場所、おたがい茶間カフェでお茶を飲んでみなどおしゃべりをして楽しんでいます。平均40名ほど来ます。	27	13	13	市(保健師さんの指導)社会福祉協議会(いろいろな面で協力してもらっている)小中高校(交流会)ボランティア団体(庭掃除、弁当の買い出し)など	しかたがないと思っている。メンバーもこのボランティアを楽しんでいるので、いいのではなにかと思うようになってきた。でも、なるべく若くて(私達より)仕事をしていない人たちに知ってもらいように声をかけている。			
69	60	社協ボランティア団体	人形劇団ころころ	2	地域の子どもたち楽しんでらおうと21年前に設立しました。	人形劇をみせる	平成10年	10		人形劇を見てもらう	なし		なるべく社会福祉協議会の行事などに参加したい。	
70	75	社協ボランティア団体	絵本読み聞かせボランティアグループあひるの会	2	平成15年公民館で図書館の読み聞かせ講座に参加。その後そのメンバーで公民館主導で設立。平成18年4月南房総市になった時、改めて設立。	保育園、小学校での読み聞かせ(お話会)。公民館(お話会)。地域で子ども会など要望があれば参加。デイサービスでのお話会。ボランティア福祉まつり参加。	平成15年	14		②のボランティア保険加入。⑩市ボランティア連絡協議会(富岐部)に参加。⑦⑧⑯おはなし会。				
71	32	社協ボランティア団体	ステーションそら	2	駅前の案内所がなくなり、商店も店じまい、シャッター通り、どなたでも寄れるよう、又、駅の回りを少し花で飾り、年間を通してのひな人形、クリスマス等を通った人に少しでも1年の行事を忘れないでほしい等	毎土、日、祭日の午前中(9:00～12:00)開けます。電車で降りる人も少なくなりましたが、案内所の役目は結構あります。又、住民も小物作り、防災ベスト等、教える事もあります。おしゃべり、お茶等で時間待ち等です。	平成27年	13	0	建物は市の物件です。ボランティア団体に入っています。老人クラブの方が月1回集まります。観光ポスター等	駅前なのでお茶の接待が出来るようにしたい。時間待ちする人、立ち寄った人への茶菓を出してあげたい。		いろいろな活動等一本化してほしい。これから先、若い人がボランティアをしてくれるか心配です。	ボランティアする人の事も少し考えてほしい。これから先、若い人がボランティアをしてくれるか心配です。
72	86	サロン団体	お達者サロン富浦	1	介護保険制度の改正により、支援がはずされた要支援者のための「老人サロン」の運営を平成28年より開始した。	老人サロンの運営(月4回)	平成28年	3	18	社会福祉協議会富浦地域サポートセンターが主管している特別養護老人ホーム「アイリスの里」が買物バス支援	十分な活動資金がないため、地域の人々へのニーズにあった活動ができない	特になし	すでにしてもらっている(主管組織)	地域福祉を充実するためのボランティア活動を支援する施策、特に財政支援を求めます。
73	30	社協ボランティア団体	ちようほうや富浦	2	富浦地区の環境保全や地域ボランティア活動を行い、地域に貢献するために平成24年に設立した。	海岸清掃、公共施設の清掃	平成24年	4	4		活動していることを地域の人々にしてもらい一緒に活動したい	活動についてのPRや会員募集について支援してほしい。	現在も経済的支援を受けている	地域福祉充実のために財政支援や会場確保、情報提供をお願いしたい。
74	77	社協ボランティア団体	あすなるの会	1	福祉施設中里の家の建設資金を集めていた時に、千倉町のボランティア団体(山びこの会)さんがバザーを開催し、200万円の寄附をしていただき、その後も支援を続けていただきました。子どもが施設に入所した後、千倉の保護者で作った会です。	最初の頃は高家神社に福祉事務所がありましたので、その庭の草取りから始め、町の行事の会場のごみ拾いをしたりバザーの協力程度、ほとんど中里の家の保護者会、役員として施設の行事に積極的に協力をしていました。	平成元年	6	1	ボランティア祭りに毎年参加し、施設で作成した製品を販売して、会場に来る方々に協力していただいております。	会員の高齢化により、来年度に協力してもらえない人材が私を初めいなくなり、今年度で解散する事も考えている状況です。		個人的に(わたげ会)の会員になり、お達者サロンに年数回参加しております。私自身、手話の勉強もさせて頂きました。利用者とのコミュニケーションをとりながらお世話をしておりますが、そろそろ利用者側になりたいと思っております。	

No	団体番号	区分	問1 団体名	区分	問3 目的、いきさつ	問4 活動内容	問5 活動期間	問6 1会員数	2役員数	問9 交流、連携	問11 困りごと	問19 市(行政との連携)	問22 社協との連携	問26 意見、要望
75	110	地区社協	滝田地区社会福祉協議会	1	南房総市滝田地区内の住民が相互に協力して地区の社会福祉の増進を図ることを目的として設立された社会福祉法人の組織である。	1地域住民による福祉ネットワークの形成、2福祉需要の発見及び把握、3地域住民の相互扶助活動、ボランティア活動等の総合調整、4社会福祉のための啓発、宣伝、調査及び研究、5青少年及び児童福祉のための活動、6高齢者及び障害者福祉のための活動、7社会福祉に係る文化支援及びレクリエーション活動	平成18年	28	28	・各種行事を開催するにあたっては、関係する団体等と呼びかけて、参加協力・支援を依頼する。 ・健康や医療、健康づくり、防災、防犯などについては、専門の関係者と連携しながら活動に取り組んでいる。	メンバーの高齢化対策が急務。新メンバーの加入促進のための啓発、宣伝活動等に力を入れていく必要がある。			
76	100	社協関連当事者団体	南房総市老人クラブ連合会千倉支部	3	1地域文化・歴史等の保持、継承 2高齢者の健康維持 3老人クラブの存在意義	1健康作り、絆を強める①スポーツ大会②演芸会③旅行④研修会その他各単老クによる健康作りの学習会(市健康支援課の講師、リハビリ体操等)や交流会、花見会、演芸会他 2社会奉仕活動①千倉美化活動への参加②各単老クによる全国社会奉仕の日に合わせて神社掃除、集会所清掃等③会員訪問(敬老の日、新年のあいさつ)	昭和40年頃	730	6	老人クの組織強化について、各単老クでは奮闘しているが加入者が少ない。原因は多くあると思うが世相の変化、老人クの不十分が考えられる。これらの克服は容易ではないが、全国の老ク強化事例では、行政、行政区(区長等)の後押しで整った例は多くある。各老クが主体的に動くことは無論だが、市全域で取り組むべきと考える。(後押しができないか)	老人クとの協働について市民の関心理解を求めようとするが、限定された人々以外浸透していないと思う。市民と対面した行動が必要。例)行政区毎の集会に出向き反復した学習宣伝をしたら市政全般が活き活きとすると考える。2健康保持について、単老クで行っているが、点の状況から面への交流定例化等をきめて行ってはどうか。	1市民との協働について市民の関心理解を求めようとするが、限定された人々以外浸透していないと思う。市民と対面した行動が必要。例)行政区毎の集会に出向き反復した学習宣伝をしたら市政全般が活き活きとすると考える。2健康保持について、単老クで行っているが、点の状況から面への交流定例化等をきめて行ってはどうか。	問19にも行政への要望を記したが、行政と一体で市民の意識変革を求める行動が必要。	1先にも記したが、市民と協働で福祉のまちづくりを提起しているのだから、もっとも2の施策方針が市民に理解されるよう行政が市民の中に入り徹底的に組織化すべきと考える。法に抵触しないことは無論だが、本気でやる気があれば難しいことではないと考える。2福祉について、これは市民全体のものであることから、市民権は限りなく公正公平であることが望ましいのは当然と考える。その経費もほぼ公平な負担をしている。しかし、福祉サービスのひとつを担う千倉地区協に対する助成金をみると公平とは言えない他地区協との格差がある。平成30年度の資料では、千倉区民1人当たり19.30円、他地区協は千倉の3.5倍から7.8倍である。こうしたことが南房総市発足以降続いてきたのであれば千倉区民に対する差別といっても過言ではない。千倉地区協の取り組みは他地区協の行動と何ら遜色ないと考えることから早急に改善していただきたい。
77	44	社協ボランティア団体	手話の会 しらはま	2	手話の講習会があり、修了後、そのままサークルに立ち上げました。聴覚障害者との交流	聴覚障害者主催の行事や後援会に参加、小中学生の福祉体験教室の手話体験への参加		10	2	小中学校への福祉体験への参加			文化祭など発表会への参加	交通網の充実
78	105	社協関連当事者団体	南房総市ひとり親福祉会	1	母子、寡婦の自立向上を図り、福祉増進を図る	養育費、面会交流についての相談、会員研修会、県連合会主催研修会参加、奉仕作業(ちくら介護予防センターゆり草刈り)	平成18年	10	2	市・・・補助金受給、総会参加、研修会講師派遣、社協・・・総会研修会等の資料作成、市福祉課との連絡調整等		本来の目的のひとり親家庭の会員が少ないから会の解散を考えているので活動を縮小中です。		
79	46	社協ボランティア団体	豆の会	2	高齢者福祉に寄与や語りの研修を生かし自らもやりがいを感じたから。地域の高齢化や少子化に伴い、活力のできるきっかけを作りたく、その土地特有の魅力を見出し多くの人に知ってもらおうとした。	デイサービス施設への慰問(語り、紙芝居、童話)、調査結果を写真や解説におきかえ、後藤義光展示館解説につなげた。また、その活動に高齢も参加していただき、受付や施設整備に協力いただいた。(※これは豆の会活動ではありません。)	平成24年	14		⑮定期的に慰問活動をしている。⑯不定期だが要請を受けた時に訪問。⑰ボランティア祭りの協力。⑱地域の文化祭への後方支援(受付など)	同様活動をしている人たちの情報交換会。		千倉介護予防センターゆり(保健センターゆり)使用規程では一般開放施設として貸し出し可になっているが、実際にはバリアがあるようである。市にバリアの設置を要望している。千倉介護予防センターゆり(保健センターゆり)使用規程では一般開放施設として貸し出し可になっているが、実際にはバリアがあるようである。市にバリアの設置を要望している。千倉介護予防センターゆり(保健センターゆり)使用規程では一般開放施設として貸し出し可になっているが、実際にはバリアがあるようである。市にバリアの設置を要望している。	施設の使用について。使用規程を見ると、公的に寄与する団体活動のため使用することは容易に出来そうに記されている。しかし、担当と話すとうそはいかないようである。また、断られる理由もよくわからない。さみしいことだ。そこで、働く職員がもう少し福祉に寄与する活動については理解してほしい。建物を使えば老朽化してくるものである。本来市民のためにある施設がバリアや一部団体の都合により、使えないことはこのようなアンケートの目的にてし違和感をおぼえる。以上、角のたつことを記したが困っているので対応よろしく願います。
80	4	NPO法人	NPO南房総リパブリック	2	都市農村交流、里山保全をともに実現させようと考えた。	里山学校。南房総DIYエコリノベーション。ヘグマリシエ。	平成24年	18	10	事業の共催。	事業の自走化。	平群小、再生活用事業。		
81	116	地区社協	丸地区社会福祉協議会	1	地域住民の福祉に関する活動の推進。	いきいき交流会(高齢者参加)の開催。ふれ合いサロン(高齢者一人ぐらい)の開催。ふれ合いランチサービスに協力。ボランティア団体の活動に協力。	平成13年	25	25	保育園・幼稚園・いきいき交流会への参加、避難訓練の協力。ボランティア団体・環境美化活動への協力。介護・福祉施設・ふれ合いサロンへの参加。	福祉活動への関心を高める。			高齢者への支援、外出手段、交流の場づくり。
82	58	社協ボランティア団体	加茂道路愛好会	1	加茂地区の60歳以上の高齢者を対象として、昭和40年に設立した。会員相互の親睦と、健全にして豊かな生活を築くことを目的としている。なお、男性会員の第一クラブと、女性会員の第二クラブと組織した団体である。	1.丸山支部等への企画イベントへの参加 演芸大会、スポーツ大会及び研修会旅行等のイベントに声を掛け合い多数の会員の参加を行っている。 2.ボランティア参加 折々での子育て支援事業等のボランティア活動への参加している。 3.当クラブ内にグラウンドゴルフ愛好会を設立し活動している。 ・定期的な練習 2回/月 ・定期的な大会の開催 ・4回/年 クラブ長杯、年忘れ大会、初打ち大会、年度末クラブ長杯 ・他クラブとの交流会 ・各種大会への参加 4.当クラブ内に園道128号線清掃ボランティアグループを作り活動している 1回/月 約20名	昭和40年	200	12	行政区等の地域団体とは、地域イベント(あじさい祭り、子ども神輿、GG大会等)への開催支援を実施。また、社会福祉協議会とは、各種企画への参加を行っている。	課題の根幹は、行政もどの団体も少子高齢化が起因していると考えていると思いますが、一団体がこの流れに変えていく術は難しい。現状を受け入れた中で現実的な方向性を見出していきたい。ご指導いただければありがたい。	・情報は、冊子(紙媒体)、HP(電子媒体)等で多く発信いただいている。公開されている必要情報は自分で取るのが原則ではあるが、高齢者の部類になるとこれが難しいです。行政におかれても財政状況等、厳しい環境と思いますが、出前相談や地域への専門担当者の配置(行政職員OBの活用)等、身近に支援いただける方がいるとありがたい。 ・当クラブでは、各種イベントを開催している中で、改善会員に対して約125%の会員が中心となり(半面、固定的ともいえる)積極的に参加をいただいている。これらの方々とは、コミュニケーションがとれ活発な活動となっており、好評を得ている。半面、参加いただけない方には、多様な要因があり難しい課題であるが、より多くの会員の方々に参加いただける企画を工夫したいし、事例や照会やアドバイスをいただければ幸いです。また、ふれあいグラウンドゴルフを企画され老人クラブ会員拡大を図っていただいているが、参加者は現在の会員ばかりとなっています。趣旨は良い企画なので周知方法をご検討下さい。 ・ターナー(リターン)の方々との連携 これらの方々とは、都会等から当地を住まいと選択しお住まいされていて、ある面行動的と思われま。また、専門的な知識をお持ちとも考えられます。長く地域に住んでいる方々とコラボレーションすることで、新しい解決策が生まれるかもしれません。	・情報は、冊子(紙媒体)、HP(電子媒体)等で多く発信いただいている。公開されている必要情報は自分で取るのが原則ではあるが、高齢者の部類になるとこれが難しいです。行政におかれても財政状況等、厳しい環境と思いますが、出前相談や地域への専門担当者の配置(行政職員OBの活用)等、身近に支援いただける方がいるとありがたい。	・情報は、冊子(紙媒体)、HP(電子媒体)等で多く発信いただいている。公開されている必要情報は自分で取るのが原則ではあるが、高齢者の部類になるとこれが難しいです。行政におかれても財政状況等、厳しい環境と思いますが、出前相談や地域への専門担当者の配置(行政職員OBの活用)等、身近に支援いただける方がいるとありがたい。
83	71	社協ボランティア団体	和田町民舞の会	2	民舞を通しての健康づくり、コミュニケーションづくり、ボランティア活動を通しての地域貢献。 町主催の歌老会があり、そこで発表する機会があり継続していくには団体として活動することを求められた。	毎週地域の女性を集め、公民館活動として練習を重ねている。その練習成果の発表の場として各地区の社協のふれあい会食会や介護福祉施設への訪問、また、道の駅や地域づくり、観光協会、各地区のイベントへの参加と設立以来30年間続いております。	昭和63年	24	4	地域のイベントのトラクションへの参加。地域祭礼のおどりの指導、介護施設への慰問、各社協での主催するイベントへの参加。		南房総市地域の民謡の振り起こしや伝達、また、ボランティアや公民館活動に参加していない個人の方への参加を促す方法等。	今後も協働で活動しておりますが、その活動をもっとしない全域と関わられるように御指導いただきたい。	市の施策や保健福祉サービスに関してあまりよくわかりません。知る機会が欲しいと思います。
84	15	地域づくり協議会	富山地域づくり協議会「ふらっと」富山	3	富山地域住民とともに知恵と力を出し合い、住民主体の活動をを進めることを目的としている。	地元の子どもの安全を見守るあんしん部会。地域の景観美化を目指す景観部会。地域の歴史を学ぶ富山学部会。	平成23年	20	7	イベント、ボランティア活動時に連携している。	個人のやる気。改善しようという意欲。			
85	112	地区社協	福都地区社会福祉協議会	1	地域の福祉向上を目指して、旧三芳村時代より活動しています。	高齢者(70歳以上)独居または高齢者世帯)対象のいきいきサロンを年2回、地域のみなさん対象のふれあい会にて軽スポーツ、講演会の実施、独居老人宅への見守り活動として友愛訪問(年3回)実施。委員対象の勉強会の実施等、幼稚園児と高齢者のもちつき交流会。		17		地区社協の委員として参加してもらい事業を行うとまで関わってもらう。研修会などを開くことができずわかりません。				
86	68	社協ボランティア団体	北三原地区小域ボランティア	2	地域福祉活動の輪を広げ、地域の人達が安心して生活できる環境づくりの一助となることを目的とし発足する。	一人住まいの高齢者への配食サービス。高齢者ふれあい会食会。福祉バザーへの協力、参加。	平成4年	26		社会福祉協議会、民生委員、児童委員、小学校、ボランティア団体と一緒に福祉バザーの開催協力、参加と小学生、幼稚園児と高齢者ふれあい会食会の開催を実施、地域作り協議会の催す花いっぱい運動にも参加。	わかりません。			
87	120	地区社協	上三原地区社会福祉協議会	1	地区社会福祉協議会は、小学校学区単位ごとに設立されたと思っています。当時の町立上三原小学校学区で福祉活動をしています。	ふれあい会食会及びびくすの木芸まつり。高齢者交流会、高齢者ふれあいサロン。独居高齢者への配食サービス。	平成8年	200	30	①ふれあい会食会の講師②社会福祉協議会との連携③会員及び役員④副会長⑤ふれあい会食会、高齢者交流会など	市内地区福祉社協の中で、1つの行政区で組織されている社協は区の役員、民生委員、老人クラブ、ボランティアで組織されている。ボランティアの高齢化が進み集落によっては選出に当たり苦労している。			

No	団体番号	区分	問1 団体名	区分	問3 目的、いきさつ	問4 活動内容	問5 活動期間	問6 1会員数	2役員数	問9 交流、連携	問11 困りごと	問19 市(行政との連携)	問22 社協との連携	問26 意見、要望
88	118	地区社協	和地区社会福祉協議会	1	地域性に応じた住民福祉活動に取り組むことを目的としている。住民参加による地域福祉活動を通じてだれもが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり。	地区社協ではそれぞれの地域が工夫を凝らしながら地域づくりを進める。主な活動は無料配食サービス、見守り活動、幼・小の児童と高齢者とのふれあい、高齢者の日帰り旅行、福祉バザー、学校、福祉施設、その他地域事業への参加、協力等。	2	18	18	主に社会福祉協議会との関係が多いが、年間行事を実施するうえで区や学校、警察、消防等に協力を願っている。	幼稚園、小学校の閉校にともない、今までの活動ができなくなることでメンバーも減ってくる為、それが課題で学校との相談が必要。	和地区は幼稚園、小学校が今年度で閉校となる為、高齢者との交流について学校との連携が問題。	問19と同じ内容。	
89	57	社協ボランティア団体	配食ボランティア 和みの会	2	独居高齢者が孤立することなく、日常の安否を確認し安心と楽しみを持ってもらえる食事を提供することでコミュニケーションが生まれ地域の支えあいができる。	地域内の独居老人への配食サービス。		30	5	ふれあいの日、地区の七夕飾り作り、踊りいろいろな所へ参加ランチの配布及び安否確認、希望者数の確認作業は、主に民生児童委員が担っている。	ボランティアへの若年層の勧誘。(ボランティアに入りたいたいと思ってもらえる魅力ある活動内容が必要。)	新規会員の加入促進運動(区長会時に依頼したらどうか?)	現在、福祉施策や実態について、目的こそ同じであるのに、それぞれの組織がそれぞれ活動している。構成員をみても重複している人が大部分です。縦割を再度見直し連携できるもの、統合できるもの等もっとスリムにしていけないとボランティアの高齢化や意識の低下が考えられる今、共倒れになるのではないのでしょうか?	
90	61	社協ボランティア団体	和地区小域ボランティア	2		月1回、独居の高齢者へのお弁当30食を作る。会員17名が2班に分かれ交流で毎月第2月曜日に和地区センターで調理しています。	2	17		高齢者と和地区小1.2年生との交流会・6年生を送る会に参加。高齢者への配食サービスできあがったお弁当を民生委員が配ってくれる。幼稚園の発表会を観覧。ボランティア(福祉)まつりで他のボランティア団体と交流。	家庭にいる若い人への声かけ(勧誘)(定年したばかりの方にも)	ラジオ体操や太極拳などのような運動を毎日できるような場所や環境の用意。同じ時間にそこに行けばいつでもできる。	高齢化が進み、運転免許証を返す人が増えています。病院や買物等、困る人も多くなると考えられます。今よりもきめ細やかな移動手段のご配慮を、団塊世代が70代半ばになる5年後ぐらいには対策が必要だと思えます。	
91	40	社協ボランティア団体	れんげの会	2	地域内のボランティア及びボランティアグループとの交流・親睦。ボランティア活動を行うことにより地域福祉の向上に寄与する。	小学校児童の登校時の見守り。ボランティアまつりの協力、参加。三芳こども園での餅つき大会。視察研修会の開催。	2	42		会員として参加。	ボランティア活動へ参加の意識改革。			
92	119	地区社協	北三原地区社会福祉協議会	1	地区内の住民が相互協力して地区の社会福祉の増進を図ること。	ふれあいサロン、花いっぱい事業、ふれあいの集い、高齢者ふれあい会食会、福祉まつり参加など。	2	22	13	地域の高齢者と幼稚園、小学校等と交流を行う。	若い人の参加。			
93	69	社協ボランティア団体	北三原植栽ボランティア	2	県道沿いや集会場等に花の植栽やそれらの管理を行うことにより地域の景観や環境美化に努める。地域の老人会が行っていた活動だったが高齢により無理だからという事で引き継いだ。	北三原地域の県道沿いにあるタイヤポット、花壇、公民館、集会場等に花の植栽を行い、それらを管理する活動。	平成18年	21		植栽事業を行うときお手伝いをさせてもらっています。地域づくり協議会で行う道の駅の花の植栽に手伝いにいきます。		現在、花苗植栽活動に協力してもらっています。今後も継続してお願いします。		
94	34	社協ボランティア団体	市部ボランティアチーム	2	住んでいて良かったと思える町作りを目指して以下の活動を行う。	海岸清掃、エコキャップ集め、ベルマーク・古切手集め、一人住まい宅への訪問、里山(観音山)の整備。	平成23年	30	0	イベントを開催する場合、協力をしてもらっている。	若い人達への活動を知らせ、理解してもらう。			
95	2	NPO法人	NPO法人たからぼこ	2	発達障害児童等、支援を必要とする人々及びその家族、関係者の支援など様々な事業活動を通じて、彼らの可能性を広げ、彼らが自分らしく伸びやかに生きられるように、全ての人が生きやすい豊かで彩り鮮やかな社会を創造すること。	放課後等デイサービス、児童発達障害事業所の運営、オーブンデーなど交流会、余暇活動、講演会、冊子の販売など普及啓発活動、ほっとカフェ、ユースお茶会など情報提供活動	平成21年	120	10	講演協力、講師派遣、イベント協力、会報配布、清掃協力、連携支援、他。	思索中	次の事業展開と障害のある方の仕事(生活介護事業所)の開設事業を控えています。事業所としてだけでなく地域の人の交流の場としてコミュニティを豊かにする場所づくりを考えています。	問19にも記した事業所の候補地の情報提供並びにコミュニティ作り	全ての人が孤立することなく、自分らしく輝くことのできる南房総市となるよう願っています。
96	76	社協ボランティア団体	根本の生活環境を守る会	3	地域的な共同活動等を行うことにより、良好な地域社会の維持、形成。	住民の相互の情報の共有(資料の配付、回覧)、環境の維持、向上(清掃活動、共用施設の維持)。集会所の維持管理。防災訓練及び防火・防災活動。行政機関等との相互連携。	2	390	10	子ども会、ボランティア団体、老人クラブに助成、警察は広報の配布、消防団は助成、民生・児童委員の推薦				
97	19	地域づくり協議会	郷づくりまるやま丸山	3	丸山地域において地域住民のため自立と絆をモットーに夢と希望と笑顔あふれる住みよい丸山の郷づくりを目指して活動する。	イベントやレクリエーション等の開催事業。丸山の景観を花いっぱいにする事業。安心な暮らし事業。ほっとスポットひだまり運営事業。花壇整備事業。	平成23年	48	4	財政的、人的支援。講習会等開催時の講師派遣、参加協力。イベントの開催の参加協力。食育。	地域づくり協議会の魅力度向上。			
98	7	NPO法人	NPO法人生活自立研究会 富浦	1	当法人は保健福祉思想の普及及び啓発、障害者の社会復帰の促進・交流事業、障害者を抱える家族に対する相談指導及び援助などの運営を主としてその人の生活自立に焦点を当てた地域福祉の向上と生活文化の向上に資することを目的とする。	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業と地域生活支援事業。地域の生活向上を目指す生活実態調査分析と生活文化向上支援事業。自立生活支援活動と関連各種団体とネットワーク形成活動。	平成16年	28	16	市役所、精神の医療機関、保健所、学校教育機関、NPO団体等各種の情報、研修、利用者支援等。	福祉の原理を踏まえた職員採用が必要だと思うが人口減少の著しい地域のためか困難。十分に活動できる活動資金が人口的・地理的環境から十分な活動資金は不足。特に、自主製品製造は当地域の資源を消費の好循環につなぐことが難しい。したがって、小規模生産に困っている。	地域の人が最も気安く出入りする市役所や社会福祉協議会に、当地区において福祉活動を展開している状況を無料でPRできる場を設けて各々の活動状況を伝えて知る機会を設けてほしい。結果として誰もが福祉活動に積極的に参加するようになってほしい。	問19に記載したように、当地区の高齢化率を踏まえて高齢者が生き生きと生活している実状を取りあげて福祉活動への参加意欲を広く誘引していくことが必要。その誘引方策こそ、行政サイドの課題であろうと思う。	当地区住民の生活実情を多角的に捉え、地域の保健福祉上の課題を明確にすること。その上で、市、保健所、社会福祉協議会、教育機関、医療機関、福祉事業機関等が各々相互連携を密にして、地域の保健福祉サービスの課題解決に向け、実践的に取り組む必要がある。それは、「当地区において、どのような人間を育むのかを問うこと」でもあろう。